

第 24 回 放送番組審議会議事録

2019 年 4 月 16 日

株式会社シーエス・ワンテン

株式会社テレビ朝日

1. 開催年月日 2019 年 3 月 14 日 木曜日 午前 10 時 30 分～12 時 00 分

2. 開催場所 株式会社テレビ朝日本社

3. 委員の出席

委員総数 8 名 出席 4 名 書面参加 3 名 欠席 1 名

出席委員の氏名

委員長 池井 優 (慶應義塾大学 名誉教授)

委員 石田 則明 (無線システム研究所 代表)

委員 丹羽 美之 (東京大学大学院 准教授)

委員 藤田 興彦 (児童育成協会 理事長)

<書面参加>

委員 高木 美也子 (東京通信大学 人間福祉学部教授)

委員 戸張 捷 (株式会社ランダムアソシエイツ 代表取締役)

委員 元村 直樹 (国立映画アーカイブ 客員研究員)

<欠席>

委員 黒鉄 ヒロシ (漫画家)

放送事業者側出席者氏名

株式会社シーエス・ワンテン

代表取締役社長 福田 泉

業務推進本部長 渡辺 慎一

株式会社テレビ朝日

総合編成局編成戦略部 部長 清水 克也

総合編成局編成戦略部 統括担当部長 吉川 大祐

総合編成局編成戦略部 前田 健太郎

総合編成局編成戦略部 遠藤 一樹

総合編成局 CS 事業部 部長 前田 寿之

総合編成局 CS 事業部 CS 編成担当部長 谷 俊之

4. 議 題

「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」、
「テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ」の番組について

5. 審議内容

◆テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ

「サカナクション LIVE & DOCUMENTALY 2018 VISUAL LIVE SESSION」番組審議◆

<番組内容>

テレビ朝日の劇場である EX THEATER ROPPONGI のオープン5周年を記念して、4DAYS で開催された『SAKANAQUARIUM2018-2019 “魚図鑑ゼミナール”』。この公演では、サカナクションのPVをそれぞれ手掛けた縁の深い映像クリエイターがそれぞれのパートを総合演出するなど新たな試みを用意。今回番組では、LIVE シーンに加え貴重な舞台裏にも潜入。山口一郎(Vo)をはじめ、演出を手掛けた3人の映像クリエイターへの濃密なインタビューなど、ライブバンドとして日本の音楽シーンを牽引するサカナクションの新たな表現方法を紐解いていく。

〈委員意見〉

- CS放送らしい、“狭く深く”ファンの人たちに刺さるコンテンツでとても良かった。
- 挑戦する姿が若い視聴者に刺激を与え、何かにチャレンジする機会になったのではないか。
- 音楽だけでなく、常に+αを考えているリーダーのインタビューが興味深かった。
- 映像と音の組み合わせのドキュメントを番組にしたのは、かなりチャレンジだと思う。
- サカナクションファン以外の視聴者にどう見せるか、もう少し視点としてあっても良かった。

◆テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ

「ロイヤル・エレガンスのタベ 2018 プレミアム版」番組審議◆

<番組内容>

多くのバレエファンが待ち望んだ4年ぶりの「ロイヤル・エレガンスのタベ」。2018年8月30日(木)～9月1日(土)に東京で開催された、英国ロイヤル・バレエ団のトップダンサーによるガラ公演をテレ朝チャンネルでテレビ初放送！

平野亮一・高田茜の日本人プリンシパルも出演する貴重な公演の模様をノーカットでお届けしました。

「プレミアム版」は、公演の模様だけでなく、様々な追加要素が加わった保存版。作品に対する思い、一緒に踊るダンサーへのリスペクトなど、ダンサーの人柄がわかる濃密なインタビューに加え、練習風景や舞台裏など、テレ朝チャンネルでしか見られない、貴重な映像をたっぷりと交えたプレミアムバージョンとして、バレエファンにも好評でした。

〈委員意見〉

- 3時間見ても飽きることがなく、素人にも分かりやすくて見やすい番組だった。
- ガラという形式は憧れのスターダンサーがいる場合は良いが、物語がある方がより楽しめる。
- 各演目について、ダンサーが話したり解説したりするのは、理解を深めるのによい試み。
- 日本のバレエに关心がある層にはコアなファンが多く、番組を作る場合、間口を広げるか、

- 狭めるか、悩みどころだと思う。
- 今回は、ある程度バレエを知っている層をねらったのだと思うが、もう少し解説を入れたほうが良かったのではないか。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた 2019 年 3 月 14 日以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、更なる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めています。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日

2019 年 4 月以降に、ホームページに審議会概要を掲載とともに、放送番組としても公表する予定です。

9. その他の参考事項

次回の放送番組審議会は 2019 年 9 月に開催予定。

以上

